



三珠中学校校長室だより
令和8年2月 5日発行
No.41
文責 校長 渡邊 康裕

三珠中HPはここから！



母校の先生方の愛情にあなたはどう応えますか？

今年度に限らず、「三珠中の生徒が母校を訪ねて遊んでいる」という話をよく耳にします。懐かしい校舎、慣れ親しんだ先生。中学生になったみなさんにとって、そこはほっと安心できる心のふるさとなのかかもしれません。その気持ち自体は、とても尊いものだと思います。▼しかし、一方でこんな話も聞いています。「校庭で遊んでいた小学生を驚かせてしまうような行為」、「近隣の方が困ってしまうような行為」……。そのことに関わった人は決して悪意はなかったのでしょう。しかし、その行為によって誰かが困ったり、悲しい思いをしたりしたことは事実なのです。▼



うスタンスではなく、「卒業生または地域の子どもを教育者として守ろう」という深い愛情に満ちた温かい対応をしてくれています。▼トラブルや苦情に対して小学校の先生方は「自慢の卒業生、あるいはこの地域の未来を担っていく大切な存在」を守るために、みなさんの見えないところで頭を下げてくれていたり、温かい指導をしてくれています。それは卒業してからもなお、みなさんのことを『家族』として愛してくれているからこそだということを忘れないでほしいと思います。そして、同じ過ちを繰り

返すことは、その温かさに甘え、自分の成長を止めてしまうことに他なりません。みなさん方に期待するのは、そんな先生方の尊い愛情に対して、先生方が誇れるような、そして小学生にとって『憧れの先輩』に映るような後ろ姿を見せてくれることです。リスペクトとは相手の優しさ・愛情に気付き、それに応えようとすることです。▼そこで、みなさん 1つ提案があります。もし、これから先、母校の校庭を使いたいと思ったら、まず職員室にいる先生方に『三珠中〇年〇〇です。校庭を使わせてもらってよろしいでしょうか？』と明るく挨拶をしてはどうでしょうか？このワンアクションがあるだけで、小学校の先生方は「あつ、〇〇さんたちが来ているな」と安心しますし、挨拶をした人にとっても、こうして遊びに来ても温かく迎え



入れてくれる先生方に「迷惑をかけないようにしなくては」という自制心をもつきっかけになるのではないかでしょうか。そして何より、みなさんことを今でも大切にしてくれている小学校の先生方は、みなさんが挨拶をする姿を見て『自立した大人』へと歩み始めたことを誰よりも喜んでくれるはずです。▼みんなが小学校へ遊びに行きたくなるのは、そこがみんなの『心のふるさと』だからだと思います。小学校の先生方はそんなみなさんの気持ちを受けとめてくれ、温かく迎え入れてくれています。そして私たち三珠中の職員集団も、いつかみなさんが三珠中を卒業して、ふと三珠中学校を訪ねてきたときには、いつでも『お帰り』と温かく迎えられる存在でありたいと考えています。

